



頭部腹面



尾部の強大な棘

ナルトビエイ *Aetobatus flagellum*

採捕年月日：2007年8月28日

採捕地点：秋田県男鹿市脇本地先 小型定置網 水深10m

全長 982mm、体盤幅 399mm、体重 1035.8 g

温帯から熱帯の沿岸域に生息。長崎県五島灘・和歌山県以南；～西部太平洋、インド洋、紅海。吻端は鋭角をなし、盤背面は一様に暗褐色。噴水孔は頭部背面からみえる、背鰭は腹鰭間に位置するなどの特徴がある（青沼・吉野，1993）。

大型個体は体盤幅 1m、体重 20kg を超える。本種は貝類を好み、資源への影響が大きいことから、有明海沿岸 4 県は積極的に駆除事業を行っており、佐賀、長崎、熊本 3 県による駆除量は、2002 年度及び 2003 年度は約 90 トン（約 9,400 個体）であった（川原ほか，2004）。大分県では 2006 年に約 41 トン、6,000 尾を駆除した。

本県においては、これまでに、能代市浅内（1998 年 12 月）、潟上市天王（2000 年 6 月）の 2 個体が確認されている。

秋田県における採捕記録

1998年12月：能代市浅内の砂浜で打ち上げられた全長約90cmの斃死個体（杉山，2000）。

2000年6月15日：南秋田郡天王町（現潟上市天王）地先の定置網で全長922mmの個体。

全長982mm、体盤長251mm、体盤幅399mm、吻長37mm、口前吻長48mm、
体重1035.8 g